

# 呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2009年4月1日～2024年12月31日の期間に当院にて、原発性肺癌に対して肺切除術を受けた患者さん			
② 研究課題名	術前 Goddard score による気腫性病変の評価が肺癌各術式における術後エアリーク関連合併症に与える影響の検討			
③ 実施予定期間	2025 年 1 月 ～ 2025 年 12 月			
④ 実施機関	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	三村 剛史	所属	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科
⑥ 当院の研究責任者	氏名	三村 剛史	所属	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、喫煙歴、併存疾患、術前 CT における腫瘍径、Goddard score、術前 PET-CT の SUV 値、術前呼吸機能、臨床病期、術式、手術時間、出血量、術後合併症、ドレーン留置期間、組織型、血管侵襲やリンパ管侵襲の有無、病理病期、再発の有無、無再発生存期間、全生存期間、死因 ※上記診療情報は、研究終了後まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は研究者によって保管されます。 ※当院の研究者が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	肺の気腫性病変は、肺切除後のエアリーク(空気もれ)に関連した合併症のリスクであることが知られています。CT を用いて気腫性病変の重症度を評価する方法として Goddard score があります。以前当科から、Goddard score が肺葉切除を行った患者さんの術後エアリーク関連合併症の予測に有用であることを報告しました。今回の研究では、肺葉切除以外の術式(区域切除、楔状切除)を行った患者さんも含め、Goddard score とエアリーク関連合併症の関連性を検討します。これによりエアリーク関連合併症のハイリスク患者を発見し、適切な術中のエアリーク対策や周術期管理を行うことが可能となるだけでなく、より適した術式決定を行うことができるようになり、肺癌周術期成績が改善することが期待できます。			
⑨ 方法	① に記載の該当患者さんの、⑦に記載している診療情報を収集しデータ解析を行います。Goddard score を用いて評価した気腫性病変の重症度と、エアリークに関連したものを中心とした術後合併症などとの関連を比較・検討していきます。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2025 年 1 月 23 日		
	院長承認日	2025 年 1 月 23 日		
⑪公表	個人情報保護は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	三村剛史	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科			

呉医療センター院長